

## 六ヶ所ウラン濃縮工場 新型遠心機への更新工事の進捗状況および既設遠心機（RE-2B）の生産運転停止について

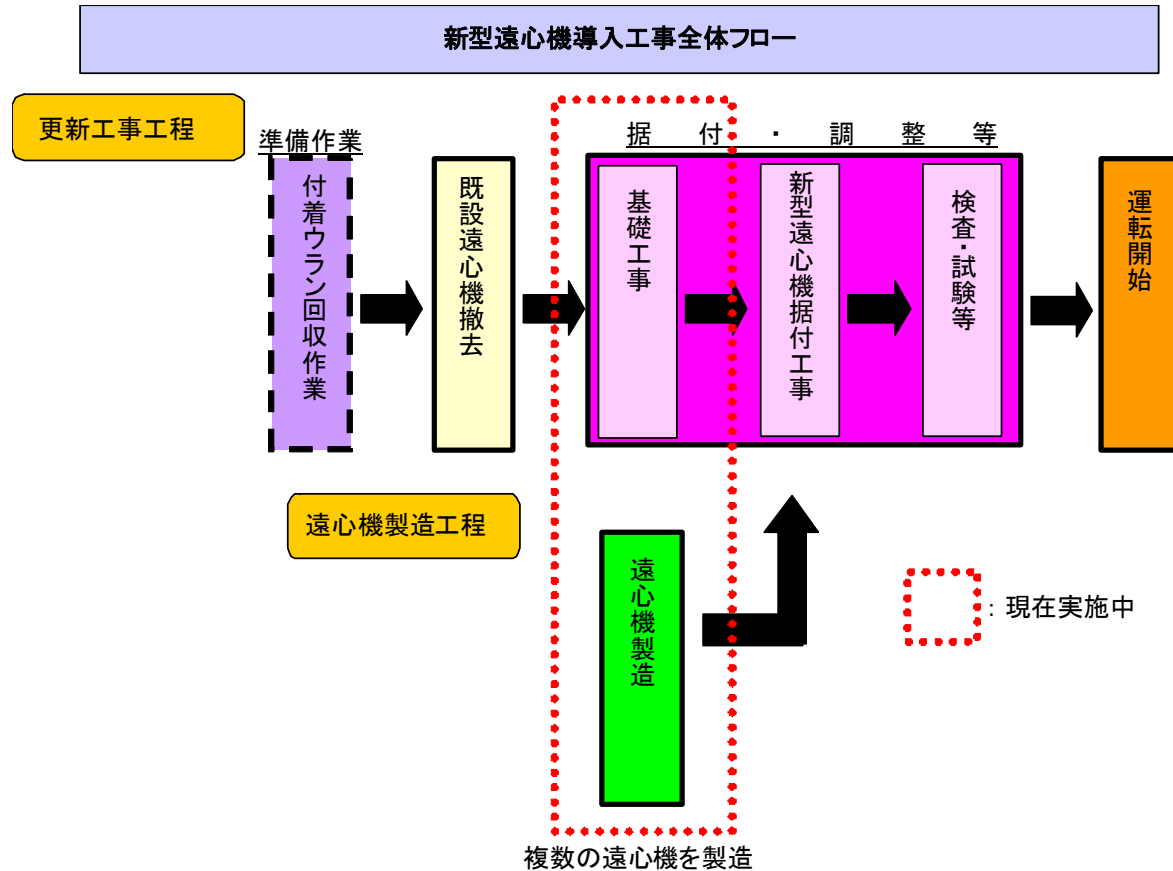
### 1. はじめに

- 当社は2000年より我が国の技術者を六ヶ所村に結集し新型遠心機の開発を進めてきた。2008年に実用化の目処がついたことから、ウラン濃縮工場に設置されている既設遠心機を新型遠心機に取り替えて、導入することとした。
- 新型遠心機の導入にあたっては、開発段階で確立した製造に関わる品質確保体制の実効性を確認して着実に導入を進めることが重要であることから、初めは小規模で更新することとし、75tSWU/年を半分ずつ2回に分けて、それぞれ2011年9月（前半）、2012年9月（後半）に運転を開始する予定である。



### 2. 新型遠心機「初期導入」更新工事の進捗状況

新型遠心機「初期導入」の更新にあたっては、「新型遠心機導入工事全体フロー」の通り、安全及び品質の確保を最優先に進めており、2011年9月の運転開始に向け、着実に進捗している。



新型遠心機「初期導入」に係る更新工事工程

	2009年度	2010年度 (2010.12現在)	2011年度	2012年度	2013年度以降
1. 着工、運転開始	着工(2010年3月)		運転開始(9月) 運転規模 (75tSWU/年の前半)	運転開始(9月) 運転規模 (75tSWU/年の後半)	
2. 新型遠心機更新		既設遠心機撤去(4月開始 10月終了)	新型遠心機据付・調整等(10月開始 継続中)		
3. 新型遠心機製造		付着ウラン回収作業(更新工事準備作業) (7月開始 4月終了)	遠心機製造(4月開始 継続中)		

初期導入後、10年程度かけて1,500tSWU/年規模の達成を目指す

○運転開始：ウランを流通したことをもって運転開始とする。その後、一定期間、慣らし運転した後、濃縮ウランの生産に移行する。

#### (1) 付着ウラン回収作業状況および既設遠心機(RE-2A)の撤去状況〔終了〕

既設遠心機（RE-2A）の更新工事の準備作業として2009年7月24日より、付着ウラン回収作業を実施し2010年4月19日に終了した。

撤去作業については、2010年4月19日より開始し、同年10月28日に75tSWU/年の既設遠心機の撤去が完了した。

また、撤去した既設遠心機については、切断部分を溶接等により密封した状態で放射性固体廃棄物としてウラン濃縮工場内に安全に保管している。

#### (2) 新型遠心機の基礎工事状況〔継続中〕

既設遠心機の撤去は完了し、現状は、新型遠心機を据え付けるための基礎ボルトを設置する等の基礎工事を実施している。

今後、基礎工事が完了後、新型遠心機の据え付け作業を実施し、検査・試験等を実施していく。

#### (3) 新型遠心機の製造状況〔継続中〕

新型遠心機の製造は、2010年4月15日より開始し、1年程度かけて2011年9月運転開始分の新型遠心機の製造を行う計画である。現在まで、2011年9月運転開始相当台数のほぼ半数の遠心機の製造を終えている。

今後、新型遠心機の六ヶ所ウラン濃縮工場への据え付けに向け、着実に製造を進めていく。

### 3. 既設遠心機(RE-2B)の生産運転停止について

○新型遠心機への更新工事においては、換気空調設備などの計測制御設備の更新を行う。

換気空調設備は管理区域内の負圧を常に維持し、放射性物質が外部へ漏れいしないようにする設備であるため、計測制御設備の更新工事は管理区域内の負圧を維持しながら行うが、初めて行うものであることから、より安全に実施できるよう、予め系統内に残留しているウランをシリンダ等の容器に回収することとする。これら回収期間等を考慮し、現在運転している既設遠心機（RE-2B）を本年12月15日に停止する。

○生産運転停止中の既設遠心機（初期導入75tSWU/年除く）は、引き続き保安規定に基づき安全に維持管理していく。